

2歳8か月児健診の聴力検査について

2歳8か月児健診を受ける前に・・・

中等度難聴の早期発見のために、ささやき声検査（聴覚自己検査）を行いましょう。その結果（別紙24ページ）を健診日にお持ちください。

中等度難聴とは？

耳の聞こえと子どもの発達は大きく関連しています。中等度難聴は、大きな音だけでなく小さい声や音にも反応するので、発見が遅れることがあります。また、音はわかっているが、会話の細かいところがわかりにくく、言語発達や入園・入学後の様々な学習の場面において影響を及ぼす場合があります。

大切なお子さんの健やかな成長発達のためにささやき声検査とアンケートのご協力をお願いします。

ささやき声検査（聴覚自己検査）の方法について

- ① 室内のテレビなどは消し、室内ができるだけ静かな時に行います。
強い雨の日などは避けましょう。（戸外を走る車の音で聞こえづらくなることもあります。）
- ② 絵を子どもの方向に向けて置き、1mくらい離れて向かい合い座ります。
＊向かい合って行いにくい場合は、保護者の膝の上にお子さんを座らせて行ってもよいです。
- ③ 「この絵の名前を言うから、お母さん（お父さん）が言った絵を指さしてね」と子どもに言って、まず普通の声（会話する時の声）で、絵シート（別紙23ページ）の表示した絵の名前を言い、子どもが6個の絵をすべて正しく指さしできるように練習します。
- ④ 「今度は小さな声で絵の名前を言うから、よく聞いて指さしてね」と子どもに言って、保護者の口もとを手や紙などで隠して、6個の絵の名前をささやき声で1回ずつ言います。正しく指さしできれば表に○を、正しく指さしできなければ×を記入します。

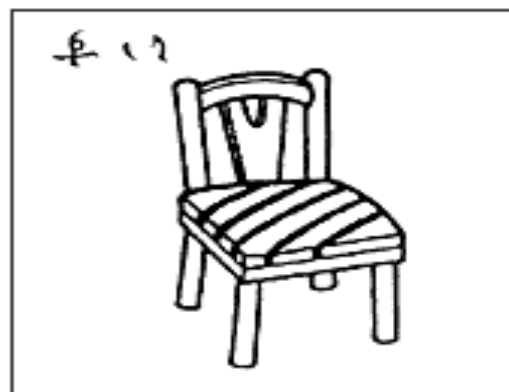
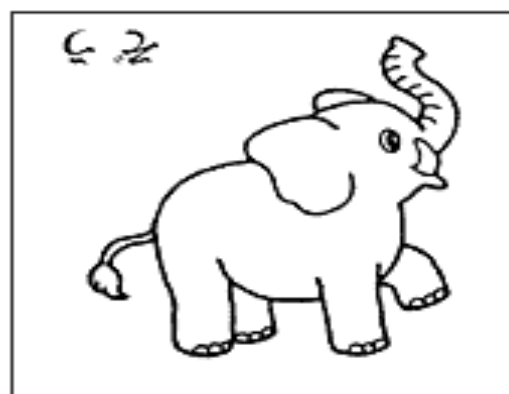
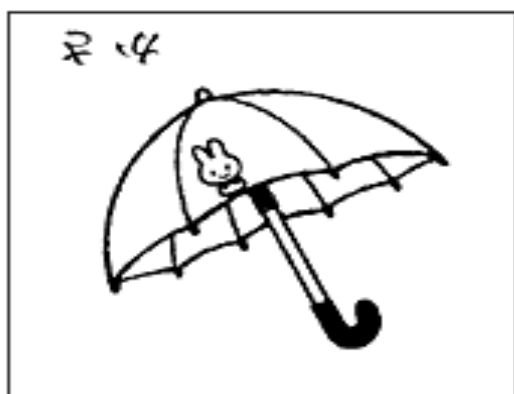
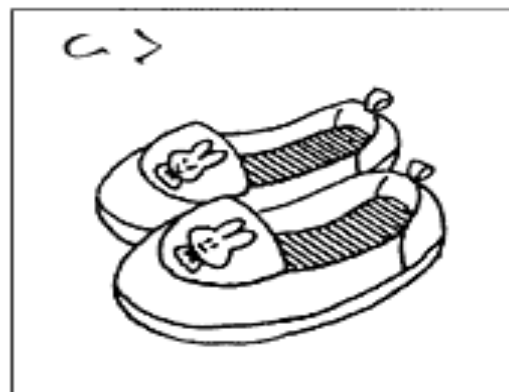
*検査の注意事項

絵の名前を言うのは1回だけです。聞き返されても繰り返し言わないでください。またささやき声が大きくなるように注意してください。

*“ささやき声”の出し方

ささやき声は息を出すだけの感じで、ないしょ話のようにささやきます。普通の声はのど（のどぼとけ）に手をあてた時、指に振動が感じられますが、ないしょ話のようにささやくと振動は感じません。この状態が“ささやき声”です。

ささやき声検査用絵シート



ささやき声検査結果票

※この用紙を健診当日お持ちください。

お子さんの名前 _____ 生年月日 _____ 年 月 日

I ささやき声検査(聴覚自己検査)の結果 実施日 _____ 月 _____ 日

実施された方はどなたですか。 父・母・祖父・祖母・その他(_____)

正しく指さしができたものに○、できなかったものに×を記入してください。

いぬ	くつ	かさ	ぞう	ねこ	いす

II お子さんの耳に関するアンケート

お子さんについて当てはまるところを○で囲んでください。

質 問		
1、家族、親類の方に、小さい時から耳の聞こえがわるい方がいますか。	いいえ	はい
2、中耳炎に何回か、かかったことがありますか。	いいえ	はい
3、ふだん鼻づまり・鼻汁をだす・口で息をしている、のいずれかがありますか。	いいえ	はい
4、呼んで返事をしなかったり、聞き返したり、テレビの音を大きくするなど、聞こえのわるいと思うときがありますか。	いいえ	はい
5、保育所の保育士など、お子さんに接する人から、聞こえがわるいと言われたことがありますか。	いいえ	はい
6、話しことばについて、遅れている、発音がおかしいなど、気になることがありますか。	いいえ	はい
7、あなたの言うことばの意味が、動作などを加えないと伝わらないことがありますか。	いいえ	はい

保健師記入欄



ミ
シ
ン